

2016年11月11日

各位

会社名 大塚ホールディングス株式会社
 代表者名 代表取締役社長 樋口 達夫
 (コード番号：4578 東証一部)
 問合せ先 IR部長 小暮 雄二
 (TEL 03-6361-7411)

国際財務報告基準 (IFRS) の任意適用に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会におきまして、当社グループの2016年12月期通期決算から連結財務諸表及び連結計算書類について、従来の日本基準に替えて、国際財務報告基準（以下、「IFRS」）を任意適用することを決議いたしましたのでお知らせいたします。

当社グループでは、日本のみならず、米国、欧州、アジアなどグローバルでの事業展開を積極的に推進しております。このような当社の事業展開の状況を踏まえ、資本市場における財務情報の国際的な比較可能性の向上、グループ会社の財務情報の均質化、及び財務報告の効率向上を目指し、IFRSを任意適用することといたしました。

（ご参考）

本日公表の平成28年12月期第3四半期決算短信の2016年12月期通期連結業績予想について、IFRSの適用による試算を行うと、以下のとおりとなります。

（単位：億円）

	日本基準	調整額	IFRS
売上高	12,000	△200	11,800
営業利益	1,150	—	1,150
親会社の所有者に帰属する当期利益	850	+100	950
基本的1株当たり当期利益	156.87円	+18.46円	175.33円

（注）営業外損益及び特別損益につきましては、IFRSにおいて金融収益／費用として計上される金融関係以外は営業利益に含まれています。

以上